

 <p>ロータリーを 実践し</p> <p>みんなに 豊かな人生を</p>	<p>Rotary Club of Engaru, Area 4, RID 2500</p> <p><b>遠軽ロータリークラブ</b></p> <p>国際ロータリー 第2500地区 第4分区</p>	<p>2013~2014年度</p> <p><b>会報 第10号</b></p>
	<p>2013~2014年度 国際ロータリー第2500地区 葭本正美ガバナー:スローガン</p> <p><b>讃えよう 地域を! クラブを! 会員(自分も)を!</b></p> <p><b>ロータリーの出会いに感謝!</b></p>	
<p><b>本日のプログラム</b></p> <p>2013年9月19日(木) 18:00 <b>夜間例会 JC合同例会</b></p>		
<p><b>次回のプログラム</b></p> <p>2013年9月26日(木) 12:30 <b>ライラセミナー報告 新世代奉仕委員会</b></p>		

**第2650回 例会記録:** ・2013年9月12日(木) 12:30~ 遠軽RC通常例会  
 ・司会: SAA 成田 弘明 会員 於: ホテルサンシャイン

☆開会点鐘 渡辺 政俊会長 ☆Rソング「我等が生業」

**◇本日のゲスト**

北海道新聞社 北見支社長 守谷 久 様

**会長報告 渡辺 政俊 会長**

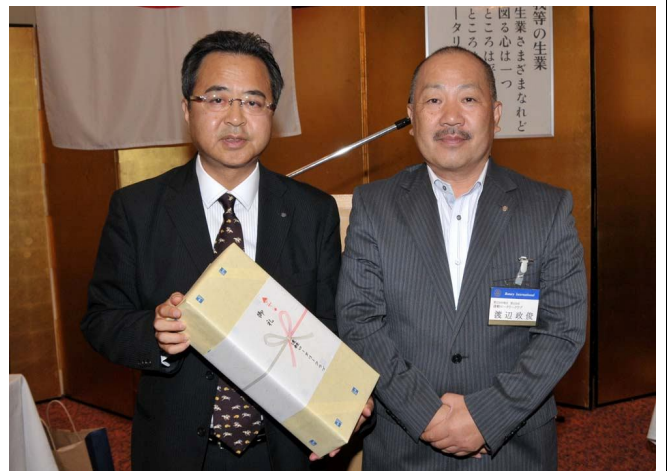
本日はお忙しい中、例会に講師としてお越し頂いた北海道新聞社北見支社長の守谷 久様に遠軽ロータリークラブを代表して心から歓迎を申し上げます。短い時間で申し訳ありませんが、どうぞよろしく願いいたします。

一昨日、鮭釣りに常呂の港に行ってきました。最近多くの鮭釣り場は港になっているのです。なぜなら最近鮭の放流は、川ではなく、車がとめやすいとの理由から港で行われる事が多いからです。以前鮭は、生まれ育った川の臭いで古里に帰ってくると考えられていましたが、最近の研究では体の中にカーナビの様な装置がついていて、自分がベーリング海に向かってたどったコースを、地球の磁気を利用して帰ってくるのではないかとの説が有力です。だから川に帰る前に、放たれた港にも一度寄り道するらしいです。4年間かけて16000kmもの旅ですので凄いです。方向音痴の人は、鮭を沢山食べてみるといいのではないかと考えていますがいかに。

先日、遠軽ライオンズクラブの40周年記念式典にお呼ばれしてきました。かなりおもしろいキャラクターの方たちが司会をしていたので、大爆笑の渦があり大いに盛り上がった式典だった事を報告いたします。

**幹事報告 木村 一則 幹事**

1. 来週は遠軽青年会議所との合同夜間例会です。久しぶりの交流の場ですので、多くの方の出席をお願いします。
2. 10月の地区大会の交通手段はバスで往復することにしました。集合時間や場所は、決まり次第連絡します。



【守谷 久様と渡辺会長】

**♥コスモスウェディング**



9月1日、コスモスウェディングは奇跡的に雨に当たることなく、盛況のうちに滞りなくできました。写真はテレビ番組の取材を受ける新郎新婦。“オンリーワン” “Made in えんがる”のイベントを繋げましょう。

**本日のプログラム**

**馬は友達 ホーストレッキングは今**

北海道新聞社 北見支社長 守谷 久 様



馬に跨って野山や海岸を散策するホーストレッキング。北海道らしいアウトドアスポーツとして1980年代後半から広がり、トレッキングを行っている道内の乗馬施設は40カ所以上に上っています。本日はその草分け的存在である釧路湿原国立公園でのホーストレッキング

誕生の話と、このオホーツクが持つ可能性を中心に語らせていただきます。

**<釧路湿原ドサンコトレッキング>**

1987年、釧路管内鶴居村で、わがウマ人生の恩師ともいべき瀬川鶴雄翁に出会いました。この年、瀬川翁が山林で飼育するドサンコ(北海道和種馬)に跨り、国立公園指定直前の釧路湿原を4泊5日かけてルポ取材。この連載記事が評判になり、当時の環境庁や鶴居村観光協会がドサンコによる湿原トレッキングを実施しました。毎回大好評で、1997年の村営「鶴居どさんこ牧場」の誕生につながっていったのです。

以来、同牧場には道内外から、多くの乗馬愛好者が訪れており、自然保護を最優先した観光アプローチとしても、高く評価されています。

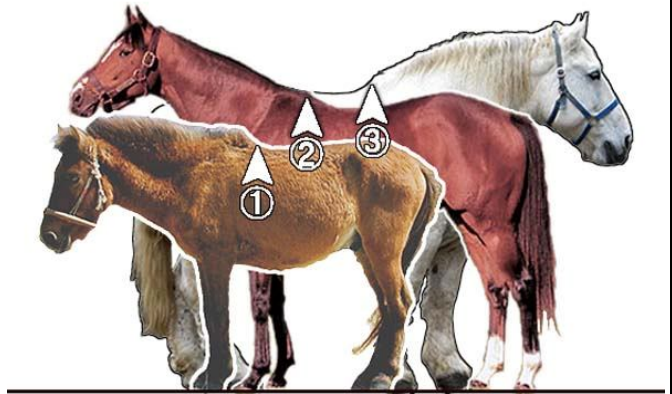
**<オホーツクはトレッキングの適地>**

1995年9月から2年間、北見支社報道部次長として勤務しました。当時、津別町の酪農家たちがドサンコ乗馬の楽しさを知り、ホーストレッキングの輪が広がっていきました。

網走には知床連山の眺望が素晴らしい海岸コースがあり、東京農業大学の乗馬同好会には多くの学生が集っています。遠軽や美幌の林間コースも元気をくれる空気で満ちています。十勝や釧路・根室管内とともに、オホーツクはホーストレッキングの適地として、大きな可能性を秘めています。

**<馬ありてこそ我が人生>**

大学乗馬部での初騎乗以来、かわいい馬たちに元気をもらい続け40年が過ぎました。馬は決して人間を裏切らない、寛容で優しい友達です。北海道の開拓も馬たちの汗がなければ、進まなかったでしょう。これからも彼らの魅力を伝え、北海道の馬文化おこしに微力を尽くしたいと思います。



**馬の大きさ:**

道産子①は体高\*130cm前後/体重350~400kg、サラブレッド②は160~170cm/400~500kg、ばん馬③は170cm前後/800~1,000kg

\*体高=地面から甲(首の後の少し盛り上がった部分)までの高さ

**ニコニコ BOX 親睦活動委員会 遠藤 利秀 委員長**

金谷 正一	会員	誕生日	5,000円
吉川 紘	会員	誕生日	5,000円
吉川 紘	会員	第51回全道サイクリング大会	
			無事に盛会裡に終了出来ました 3,000円
			合計 13,000円
			累計 154,000円

**出席報告 出席委員会 竹内 徳治 委員長**

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
9月 5日	35	31	24		77.4%	
9月12日	35	31	22		71.0%	

☆ 閉会点鐘 渡辺 政俊 会長  
☆ 今月会報担当 上田 稔 委員

URL : engaru-rc.com

遠軽ロータリークラブ 創立1959年9月12日 認証1959年11月7日

◆ 〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail re1959@engaru-cci.or.jp	会 長 渡 辺 政 俊 副 会 長 西 清 治 会長以外 上 田 稔 幹 事 木 村 一 則 会 計 遠 山 博 S A A 成 田 弘 明	編集・発行 メディア委員会 委員長 海 野 功 委 員 石井定男(7・8月) 上田 稔(9・10月) 棚橋 忠(11・12月) 西 清治(1・2月) 東海林勉(3・4月) 中川満之(5・6月)
◆ 北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテル サンシャイン Tel 0158-42-1151 Fax 42-1151 毎週木曜日 12:30~13:30 第3木曜日は夜間例会(18:00~19:00)		